PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference PC-9193	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2004/008576	International filing date (day/month/year) 11 June 2004 (11.06.2004)	Priority date (day/month/year) 24 December 2003 (24.12.2003)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant MITSUBISHI MATERIALS CORPO	DRATION			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).					
2.	This REPORT consists of a total of 5 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	3. This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I	Basis of the report				
	Box No. II	Priority				
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability				
	Box No. IV	Lack of unity of invention				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the international application				
	Box No. VIII	Certain observations on the international application				
4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
			-			
			Date of issuance of this report 26 June 2006 (26.06.2006)			
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland		ombettes	Authorized officer Masashi Honda			
i e			e-mail: pt08@wipo.int			

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

		RECEIVED			
出願人代理人 志賀 正武		0 5 AUG 2004			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		WIPO PCT			
あて名					
〒 104-8453 東京都中央区八重洲2丁目3番1号	PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) (PCT規則43の2.1)				
	発送日 (日.月.年) 03.8.	2004			
出願人又は代理人 の書類記号 PC-9193	今後の手続きについては、下記2	2を参照すること。			
国際出願番号 PCT/JP2004/008576 国際出願日 (日.月.年) 11.	優先日 06.2004 (日.月.年)	24.12.2003			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ C03C 27/1	国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ C03C 27/12, C08K 3/10, 5/00, C08L 29/14				
出願人 (氏名又は名称) 三菱マテリアル株式会社					
1. この見解書は次の内容を含む。 ※ 第 I 欄 見解の基礎 第 I 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 ※ 第 V 欄 P C T 規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 VI 欄 ある種の引用文献 第 VII 個 国際出願の不備 第 II 個 国際出願の不備 第 II 個 国際出願の不備 第 II 国際出願の不備 第 II 国際出願の不備 第 II 国際出願に対する意見 2. 今後の手続き 国際予備審査機関が P C T 規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関が P C T 規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の見解書とみなされる。 この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式 P C T / I S A / 2 2 0 を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。 さらなる選択肢は、様式 P C T / I S A / 2 2 0 を送付した目かな場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。					
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。					
見解書を作成した日 09.07.2004					
日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 村守 宏文 電話番号 03-3581-110	4 T 3 2 3 4 1 1 内線 3 4 1 6			

第 I 欄 見解の基礎						
1. この見解書は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。						
この見解書は、 語による翻訳文を基礎として作成した。 それは国際調査のために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。						
 この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。 						
a. タイプ	配列表					
	■ 配列表に関連するテーブル					
b. フォーマット	□ 書面					
	コンピュータ読み取り可能な形式					
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる					
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された					
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された					
3.						
4. 補足意見:						
	·					
·						
,						
<i>'</i> .						
,	•					

当院師往機関の	· 兄胖哲		国際出願	游号 PCT	/ J P 2 O (04/0085	7
第V欄 新規性、進歩性又は産業上 それを裏付る文献及び脱明		ついてのPC	T規則43の2.	l(a)(i)に定る	める見解、		
1. , 見解							
新規性 (N)	請求の範囲 _ 請求の施阻 _	1-26		•			有無
進歩性 (IS)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _				,		有無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-26		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			有無
2. 文献及び説明	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
	10.09	,特許請求	求の範囲,	[001	6],	[0020]	
文献2:JP 20 2001. -【003 48】,	01-302 10.31 11, [0 [0052]	,特許請 ³ 034】 ⁻ ,【00 ⁴	找の範囲, - 【00² 7 3】,	【002 40】, 【0075	23], [0043 5], [0	$\begin{bmatrix} 1 & - & 0 & 0 \\ 0 & 7 & 6 \end{bmatrix}$	0
文献3: JP 20 28, 【0	024】段 ·第8頁第1	3643 / 落 & V 0行 .	A(旭硝- WO 0:	子株式会社 1 / 4 2 1	E) 200	1. 08.	₹
2001. & US 文献5:JP 7—	06.21, 2003/ 70482 022],	,第11頁 21994 A(三菱 【0029	頁第12桁 4 A1, マテリアバ 9】, 【 (デー第12 【003 レ株式会社)033】	4】段落 b) 199 段落 &	5. 03.	5
請求の範囲1-12、 1-2、 1、2と国際調れの 2と記載されて 3、2に記載さいで 4、2に記載さいで が大きないで 3、2に記載さいで 4、2に記載さいで 4、2に記載さいで 4、2に記載さいで 4、2に記載さいで 4、2に記載さいで 5、2に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、3に記載さいで 5、5に記述 5、5に記述 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	で引用されたという。というでは、これでは、これでは、一般性を、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは	たムに散さのとスア文微、液せ分っはルないでる散で、コールのではかけた。これではかけた。これではいいかが、コールのではかが、コールのでは、コールのでは、カールのというでは、カールルのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールルのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのとというでは、カールのとのとなっては、カールのというでは、カールのというでは、カールのというでは、カールのとのとなっては、カールのとないでは、カールののとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールののとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールのとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カーののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとないでは、カールののとのではないでは、カールのののではないでは、カールののでは、カールのののでは、カールののではないでは、カールののではないでは、カーののではないでは、カーのので	4散、性を得でイをを、性をでは、性をであるが、性をであるが、に、これであるが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	たいまされた。 といれまするに ムるこア 微ことル 粒とのはっ そうしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かん	Eを イ 型 ル 当 ル 当 ル 当 ル 当 ル 当 れ が も の 微 粒 そ の も の も の も し の に の に し の に に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に	い。文献を対している文献を対しているのでは、文徴をです。 が容易に対している はい	子別幾思り る句

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

る反射イエローインデックス値を満たしているものと認められる。

請求の範囲13に係る発明は、文献1-4と国際調査報告で引用された文献5とにより進歩性を有しない。

文献 5 には、優れた赤外線反射能を有する 1 T O 微粒子の格子定数が、1 0. 1 1 0. 1 6 Å であることが記載されている。文献 1 、 2 において、赤外線反射能を高めるために、文献 5 に記載された格子定数を有する酸化インジウム微粒子を用いてみることは、当業者が容易に想到し得ることである。